

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
石澤主幹	<p>〈現状課題について説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加説明～現在の児童生徒数は美小419名、東陽333名、旭269名、小学校合計1,021名となっている。中学校は美中248名、北中297名の計545名である。なお、来年の小学校入学予定者数は167名となっている。</li> </ul>
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道立高校は魅力あるもの作らなければ、間口は広がらないのではないか。</li> </ul>
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろ検討したが、進学を考えなければならぬのではとなり、特進コース等も設けた。</li> <li>・PRがうまくいってなく、実業という部分があるので、中学校等にPRして努力している。</li> </ul>
牧野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は点数制なので変えるのは難しい。他市町村からの受入れも定期券などお金を出すなり、考える必要があるのではないか。</li> </ul>
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学校としては北見にかなわない。例えば大学に行かなくても就職できるようなことがあればいいのではないか。授業の中に職業体験など盛り込み、就職しやすい高校のような。</li> </ul>
牧野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あせって北見の学校に行くより、美幌で推薦もらう方が大学に行きやすい場いいもあるし、そういうことを狙っている子もいる。</li> </ul>
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に美幌の宣伝など説明をしているのか。</li> </ul>
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している。体育館に集めて行っている。</li> <li>・美幌高校まだまだPR不足である。また実績を示してほしい。</li> <li>・小中学校には教育委員会がんばっていい先生を集めてほしい。</li> </ul>
牧野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園で、子供子育て支援制度は認定こども園のことか。</li> </ul>
高木部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりである。27年に移行するということである。</li> </ul>
木村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の美幌子どもは北海道の平均より能力が低い。ゲーム、インターネットは好きだが、肥満でコミュニケーション能力が低い。</li> <li>・学力テストの結果を保護者に見せて説明してはどうか。</li> </ul>
牛島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力に分けて教えてはどうか。</li> </ul>
牧野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく追加する内容で、中学校1年だけではなく2年3年も35人学級を実施してほしい。</li> <li>・その他、病気になった子を預けられる制度を作してほしい。</li> <li>・美高に自閉症児も積極的に受け入れることなどはどうか。</li> </ul>

